

平成 29 (2017) 年度事業報告

重点課題に対する取組みと成果

1、各コミュニティセンターの担い手となる事務局人材の育成の強化

福島労働局の「キャリアアップ助成金」を活用しながら、組織内研修の充実を図るほか、組織外の団体との合同研修を進めて、事業の利害関係者を増やしていく。また、職員が有休を有効活用して、自発的に研修に参加する際の旅費・参加費を積極的に負担する。

【成果】職員に、自発的に研修参加を呼びかけたがコミュニティセンター事業運営等の日程調整困難のためか2名(研修会のべ9回)の参加にとどまった。職員にはもう少し積極的に参加していただきたい。

2、必要に応じたコミュニティセンター同士の事業連携作りや他の市民団体、NPO とコミュニティセンターの事業連携を作り出し、予算と地域づくり協議会での人材の効率的な配分を行う。

【成果】8館合同事業として「阿弥陀様と建築様式めぐり」を実施し多くの参加者があった。30年度も実施予定。また、NPO 法人スポーツクラブバンビィとの共催事業「第2回あいづばんげ桜ウォーク」の実施。

3、各地区地域づくり協議会の優れたノウハウやしくみをお互いに学び合う場を積極的に作り出す(ノウハウの公開、マニュアル化)。事例の共有を通じた各地域づくり協議会の活動の活性化を促す。

【成果】まだ、取組みまでは進んでいない。継続的に行なっていきます。

4、NIVO 事務局を中心に地域課題の数値化を積極的に行い、活動の「見える化」を進め、地域住民や行政などの利害関係者への説明責任を果たすとともに、地域内外の民間団体の事業参画を促していく。

【成果】継続的に事業参画を促していきます。今後これから地域課題をより一層取組んでいきます。

5、NIVO 組織内の連携を強化するために、事務局長が月1回をめぐりに各コミュニティセンターを訪問し、課題の共有を進める。課題があれば、理事等とも協議し組織的な対応を行っていく。誰か個人のせいでは事業がうまくいかないという言い訳をしないで、役職員が役割分担をしながら解決に向けて活動をしていく。

【成果】月1回のコミセン訪問の予定でしたが、年間4回の実施にとどまってしまいましたが、今年度も継続的に実施していきます。過残業に関しましては、若干減少しました。

6、中間支援機能の強化を行う。今年度は「うつくしま基金」の助成を受けて、地域づくり協議会とNPO との学習会を(2回)実施していく。

また、NPO とNPO、NPO と行政、NPO と地域づくり協議会の事業連携を強め、多様な利害関係者が協力しながら課題解決に参画していくことを支援する。大学、特に会津大学との連携を強化し、地域内の市民活動のニーズの調査を進めていく。また、産学、産・学・官・市民の連携事業の模索を進めていく。

【成果】「うつくしま基金研修会」は、各地域づくり協議会委員と行政と他NPO 法人と連携しながら、講演会とワークショップのべ4回実施。また、NPO 法人情報交換会1回実施。

事業名	事業内容 (頻度)	方法 (行為目標)	成果
1 会津坂下町まちづくりセンターの運営	<ul style="list-style-type: none"> *毎週5日、年末年始、夏期休業を除く 9:00~18:00 ・会議室の提供 ・印刷、コピー等の事務 ・用品の貸与など ・組織運営への相談、助言 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ2名で対応。必要に応じて理事や外部からのアドバイザーを招いての事業推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者 3,100人 437人の増加 ・利用事業団体 (賛助会員) 50団体 ・コピー等収益、約 60万円
2 ボランティア活動の普及、啓発及び推進に関する事業 *スノーパトロール事業	<ul style="list-style-type: none"> ・会津坂下町ボランティアセンターを運営する ・ボランティア情報の受発信、マッチング、コーディネート、人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ2名で対応。必要に応じて理事や外部からのアドバイザーを招いての事業推進。 *会津大学との連携 *坂下地区地域づくり協議会との共催 *消防団との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪ボランティア事業の実施 ・実行委員会1回実施 ・小型除雪機安全講習会1回実施 ・参加者のべ20名 ・連携参加団体10
3 市民活動に関する相談及び活動促進のための調整並びに人材育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動組織の調査、研究、マッチング ・セミナー、講演会等を開催しての人材育成 ・市民活動への啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ2名で対応。必要に応じて理事や外部からのアドバイザーを招いての事業推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果としては、「うつくしま基金研修会」を、各地域づくり協議会委員と行政と他NPO法人と連携しながら、講演会とワークショップのべ4回実施。また、NPO法人情報交換会1回実施。
4 市民活動に関する情報の収集と提供及び情報発信に関する支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、フェイスブックを通じての情報の受発信 ・広報誌「きいてくなんしょ」の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ2名で対応。 ・会津大学との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ閲覧 (毎日10件)、フェイスブックは月1回程度更新。 ・毎月25日発行できました。

<p>5町づくりの推進に 寄与する活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区コミュニティセンターに事務局長及び事務局員を配置し、コミュニティセンターの事業コーディネートを行いながら各地区地域づくり協議会の地域づくり計画に則った運営及び事業推進とコミュニティの活性化を図る。 ・事業の見直しをはかる。持続する事業と他の地域との共催事業。担い手の参加者の少ないイベントを見直す ・協働のまちづくり推進事業 ・桜オーナー会事務局 ・市民農園事務局 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局長、事務局員 12名で対応。 ・各地域づくり協議会内部の課題の共有 ・事務局員を中心に、各地域の課題の数値化を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの地域について調査・学習を積み重ね、その成果を冊子等にまとめた。 ・地域性豊かで多彩な事業を企画運営し課題解決に向けた活動をすることで、地域への愛着が高まってきた。また、防災・減災安全安心関連事業の活動も増えてきています。 ・事務局長・事務局員が研鑽を重ね、地域の方々から信頼される存在となり、理解されるようになってきています。 ・桜オーナー会は、会員の高齢化や予算不足により維持管理が困難になってきている。 ・市民農園は、申込者4名14区画実施。町・NIVO・利用者との三者会議の実施
-----------------------------	--	---	--

<p>6 青少年の体験活動の推進及び健全育成に関する事業、社会教育および生涯学習の普及啓発並びに推進に関する事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会津坂下町青少年育成町民会議並びに地区育成会、育成事業及び社会教育、生涯学習事業を連携させた事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ2名で対応。必要に応じて理事や外部からのアドバイザーを招いての事業推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協働によるまちづくり推進事業は、2回の審査会とワークショップの実施 ・チャレンジインターンシップ事業は、1人の応募がありメンターとして活動ができた。
<p>7 公益活動組織の設立運営・活動に関する支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策提案にかかる事業 ・社会企業の設立支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会企業設立支援事業(マネジメント相談会の実施) ・活動団体事務支援 ・町内市民団体の調査・研究の結果、課題整理 ・会津坂下町国際交流協会、NPO 法人 I T サポートあいつの事務支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ2名で対応。必要に応じて理事や外部からのアドバイザーを招いての事業推進。 ・行政にお願いするのではなく、主体的に課題解決の担い手になってゆく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町 NPO 法人との情報交換会 1 回実施。 ・会津坂下町国際交流協会、NPO 法人 I T サポートあいつの事務支援の実施。